



ROTARY INTERNATIONAL

クラブ会長
幹事殿控

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1997年6月20日 No.13

1年を終えて



▲第7回RAC地区年次大会



国際ロータリー第2760地区 ガバナー 松本 宏

〒475 愛知県半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内 TEL0569-26-3800 FAX0569-26-3840

"この1年を振りかえって" PART 1

1996～'97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松 本 宏

昨年アナハイムに於ける国際協議会にて、ルイス・ジアイ会長は「1996～97年度にかける期待、世界社会への誓約」と題する講演の中で、「本年度私が皆さまに期待するのは最高点10点のガバナーになっていただくことです。どうすれば10点のガバナーになれるでしょうか。私の答は次の通りです。

- 1、質が皆様の年度のトレードマークになることを期待します。
- 2、1996～97年度会長賞プログラムに皆様の地区が参加することを期待します。
- 3、平和な都市づくりに尽力することを期待します。
- 4、新世代を無条件に支援することを期待します。
- 5、ロータリー財団を推進することを皆様に期待します。
- 6、さらに強力なロータリーを築くことを期待します。
- 7、地区大会を成功させることを期待します。
- 8、女性のロータリー入会を推進することを期待します。
- 9、皆様の地区の新しい未来の建設者になることを期待します。
- 10、ロータリーの理想と原則の忠実な解説者となることを期待します。

これが指導者をガバナー・プラスにする10点です。皆様にそれぞれの項目で成功を収めてほしいと思います」と述べられました。

私はこの10項目について、ジアイRI会長の要請にどれだけ応えることが出来たか自問自答し

てみました。地区パストガバナーの適切なお助言を賜わり、地区内ロータリアンの深いご理解とご協力をいただき、何とか合格点が得られたと思っています。

ジアイRI会長は、本年度RIテーマとして、「行動力と先見の眼で未来を築こう」と、先ずACTIONを起すことを我々に要請されました。

私は、第2760地区のターゲットとして「実践するロータリー・プラス1」を掲げさせていただきました。ロータリーは実践して初めて意義があるということを、公式訪問で強調して廻りました。各クラブにおかれましては意欲的に諸活動の推進にご協力下され、大きな成果を挙げることが出来まして心から感謝しております。

「ロータリーの友」5月号に、佐藤千壽パストガバナーの「脚下照顧」の日々を生きよう。と題するスピーチが掲載されています。この意味は、理屈を言う前に、自分の足もとを見よ。ということです。そのスピーチの中で「ロータリアンは、いまこそ職業倫理を説き実践するときである。職業奉仕とは、われわれがその職業において、または職業を通じて他人に幸福をもたらすことであり、他人に奉仕することである。幸せになりたいと思うなら、まず人を喜ばせることを考えなさい」と。これこそ、ロータリーの原点であると思います。ジアイ会長が、第1に掲げられた質を本年度のトレードマークにして下さいと云うことと相通ずるところがあります。

(次号に続く)

岡崎東ロータリークラブ RCC結成認証状伝達式挙行 (岡崎少年野球サークルを対象団体として)

岡崎東ロータリークラブでは、前年度会長が提唱され、クラブ独自の長期計画特別委員会で検討されていたRCCについて、本年度会長に引継がれ、7月には正式にRCC委員会も設立し本格的な研究に入りました。

当クラブのガバナー訪問は8月に予定されていた為、急ぎ具体案の検討に入り、ガバナー訪問時には今秋のうちにRCC結成と認証状伝達式も行いたいと報告をいたしました。詰めの段階に入り、諸々の問題も発生し、又RIへ送付する書類作成作業も遅れがちとなりました。RCCの対象団体は「岡崎少年野球サークル」と決定され、明けて1997年1月に入り「岡崎少年野球サークル」の幹部指導者との顔合わせも出来、RCC結成書への署名もいただきました。そしてRIより2月には待望の認証状が届きましたが、会長の意向もあり、当クラブ創立記念日に近い例会を選び認証状伝達式を挙げる事となり、新緑の4月24日(木曜日)、クラブ創立24周年記念例会を兼ねて行われました。

当日は松本宏ガバナーをはじめ地区関係役員、西三河第一分区、同第二分区代理に加えて区内岡崎、豊田のロータリークラブより来賓をお迎えしました。

岡崎東ロータリークラブ

会長 永田和氏

R.C.C.委員長 水野恒彦



常滑ロータリークラブ R.C.C. 認証状伝達式



常滑RCの提唱によって、市内教育関係者を中心に構成された常滑ロータリー地域共同隊（常滑RCC）の認証状伝達式が、5月9日の例会後行われました。

当日は松本ガバナー、森岡分区代理をはじめ、地区の関係役員、区内5RCの会長や、石橋常滑市長を来賓としてお迎えしました。

まず後藤常滑RC会長より設立の趣旨、背景の説明と、常滑RCCの名称となった常滑ハートケアサークル（略称THCC）の紹介がありました。松本ガバナーから、隊長の佐藤利光さんに認証状が伝達され、つづいて後藤会長から助成金目録が渡されました。

常滑RCでは、その活動目標の一つとして、RCCによる青少年問題、特にいじめ、登校拒否問題について、その活動方針、活動計画に積極的に取り組んできましたが、常滑ハートケアサークル（THCC）としてその組織化が実現しました。THCCの当面の活動目標は、登校拒否の減少といじめ、暴力の根絶をめざすことにありますが、これらは息の永い活動が求められます。常滑RCとしては、RCCの基本理念に基づいた支援を続けていくことにしております。本日の認証状伝達式を契機に、THCCが問題解決に向け、益々活発な活動をされ、将来を担う児童、生徒が豊かな心を持ち、強く逞しく生き抜くことのできる青年へと育てていくことを願って止みません。

常滑RC幹事 関 宏明

第7回年次大会を終えて

国際ロータリー第2760地区 ローターアクト地区代表 神谷 徳 昭

国際ロータリー第2760地区 ローターアクト 1996～1997年度第7回年次大会を開催するに当たり、松本 宏ガバナーを始め地区内外から多数の御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、ご来賓として東海市長久野 弘様を始め、多数のご来賓の列席を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

本年度私達ローターアクトは地区テーマに「育てようアクトの芽 育もうアクトの和」と題し、更なるローターアクトの発展と育成に従事して参りました。



▲地区代表神谷氏のあいさつ

今年度のテーマの中には、会員の増強 新入会員の育成だけに留まらず自己の成長における新たな発見や、地域社会に貢献することによって得られる社会的なアクトの位置づけを明確にして行くといったことに留まらず、アクター一人一人がアクト活動への明確なビジョンを見だし、時代のニーズの中で我々アクターが求めているもの、求められているものを考え個々の意識を高めてもらいたい、そんな願いの中、地区活動を進めて参りました。

そしてその年頭の思いを今一度ここで思い返してもらいたい、新たな飛躍への願いを込めて本年次大会のテーマを「若き芽に 輝を」といたしました。

時代を作られて来たロータリーの諸先輩方、今からの時代を託す若者達、その間に立ち今の

時代を生きる自分の光を、輝きをもう一度感じて頂きたいとの願いを込めて。

今年度国際ロータリー第2760地区では、初めての国内研修として国際ロータリー第2600地区（長野）、第17回の海外研修として国際ロータリー第9640地区（AUSTRALIA GOLD COAST）にお世話になる機会を得ました。

その中で私たちが一番感動を得たのが、アクトという言葉、アクトというつながりだけで私たちは国内外に多くの友を感じ、持つことが出来るということです。私たちは会う以前からアクトという主旨の下に集まった仲間であり、友なのです。このような感動を私たちが形にし言葉にしたのが前夜祭「It's a small world」です。日本を世界を地球を感じて頂きたいとの願いを込めて。

最後に、本年次大会を開催するにあたり、今年度地区事業、使用済みプリペイドカード『世界の子供にワクチンを 日本委員会』及び使用済み郵便切手『日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）』の収集にご協力くださった各ロータリークラブの皆様には感謝申し上げますと共に、ご指導、ご鞭撻を賜りました提唱ロータリークラブであります東海ロータリークラブの皆様方に心より感謝申し上げます。



▲地区年次大会前夜祭にて

1996～'97年度 地区委員会委員長

1年の活動をふりかえって

地区資金委員会



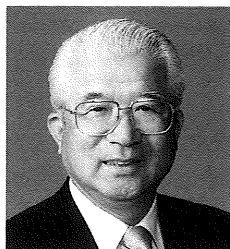
重点方針により効率的運営

杉原彦三郎
(豊川)

1996～'97年度。地区資金委員長として、大役を無事終了しようとしています。松本ガバナー、地区役員の皆様、ガバナースタッフの皆様に、ご指導ご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。昨年5月12日、地区協議会では第一分科会のアシスタントリーダーとして、会長、幹事さんを対象に「地区資金について」を担当し、自分自身、改めて地区資金の重要性を再認識いたしました。

地区会計は現在未確定であります。しかし、当初の予算額の範囲内で決算報告が行われると思います。これも松本ガバナーの誠実な人柄と卓越した指導力、そしてガバナーの重点方針にもとづいて適正かつ効率的な資金運営が実現されると考えております。今後も地区財政が健全に推移し、地区発展向上に寄与することを祈念いたしまして報告といたします。

拡大委員会



鈴木孝平
(刈谷)

三年間連続で地区拡大委員長を務めさせていただいたので年度の始めに内田地区幹事にお願いして、ロータリーの精神からいっても三期が最長だと思いますので今期限りで退任させていただく様に懇願して、本年度は最後の年だからと思っていたところ、お陰様で名古屋東山ロータリークラブが創立されました。相羽鋳一特別代表のご指導のもと、会長古谷翹君、幹事松野一彦君以下47名の若々しい会員を擁し本年3月25日ホテルナゴヤキャッスルに於て華々しくチャーターナイトが挙行されました。心からお祝い申し上げます。当地区も近年順調に拡大が進み国際ロータリーの内でも最も活力のある地区の一つになっています。改めて歴代ガバナーを始め地区役員の皆様の拡大、増強に対するご努力と地区内会員諸兄のご理解に対して深甚なる敬意を表しまして退任のご挨拶といたします。

クラブ奉仕委員会



吉 村 太 郎
(名古屋西)

クラブ奉仕委員会の責務は、クラブ細則によりますと、①クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任を持つこと ②クラブ奉仕の特定分野に設置されたあらゆる委員会の仕事を監督調整する任務を持つこと、となっております。

一年間、地区クラブ奉仕委員長を体験させていただいて、一番感じたことは、地区のクラブ奉仕委員会は、RI会長及びガバナーの方針を、確実にしかも、地域の実情に合うように、出来るだけ具体的に関係委員会に伝えることに盡きるということであります。

振りかえってみますと、地区協議会の分科会では、この視点に基づいて、もっと具体的な勉強と準備をするべきだったのではないかと反省しておりますが、幸い、松本ガバナー、宮地カウンセラーはじめ、各アシスタントリーダーの皆様の適切なご助言により、大過なく務めさせていただいたことを感謝しております。

会員増強委員会



上 野 山 通
(あ ま)

昨年の地区協議会の折、R.I.会長の指示により、各クラブの会員増強目標数のアンケートをクラブ委員長に依頼し、その集計数が地区の目標数として、アジア第3ゾーン、コーディネーターの小谷氏に報告されました。

新年度早々、京都にて会員増強の研修会が開かれ、ガバナーと共に出席し、第2760地区の目標数が、ゾーン内7地区中最多であった事に驚いたものです。

松本ガバナーの意により、地区内の各クラブ宛増強活動の要請を行いました。その結果、第3ゾーン内の増強率では第2位(4月現在)となっています。

例年の3%増強を考えますと、3.7%程度とはいえ確実に増強の効果は出ています。

ガバナー初め事務所スタッフ、並びに地区内の皆様に温かいご支援をいただき、任を終えることに喜びを感じています。

広報委員会



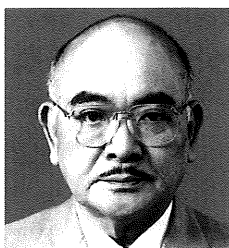
赤 井 知 久
(豊橋南)

本年度がはじまる寸前に、委員長さんがお仕事のご都合で身を引かれることになり、ところてん式に、繰り上げ当選の委員長になってしまい、とまどっております間に、何もせずに一年が終りますことに後ろめたさを感じます。ただふりかえってこの委員会が行うとすれば、次のような事業活動があったのではないかと考えておりますが、後のまつりであります。

しかし、あえて書かせて戴くとすれば、内外を問わず、ガバナー月信がありますので、これを有効活用されれば、かなりの面で必要・充分条件を整えているものと考えております。

これ以外には、例えば地区内の各ロータリークラブが独自に行っている広報活動で、ユニークであったり、他の参考になるものなどをインフォメーションすることなどが良いのではないかと考えております。

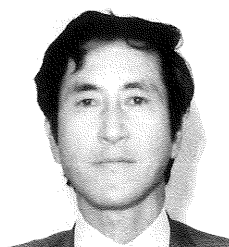
職業奉仕委員会



岡 本 纓 二
(名古屋名東)

地区協議会、地区職業奉仕委員長研修会を主行事とし、11のクラブで例会卓話をさせていただき大変光栄でした。研修会ではポール・ハリスの「ロータリーとは実業・職業生活における道德観念の実践に他ならない」という言葉を原点として「職業奉仕における新方針」を採択するに至る展望をお話ししました。また、TVドラマ「外科医 柊 又三郎」の主人公が「国境なき医師団」に参加していたが、その医師団の活躍、その憲章がロータリー哲学とよく似ている事などを金城学院大学 桜井のり子教授からお話をおきし、研修会は有益でした。「新方針」に付随する小委員会（ボランティアなど）の設置状況を調査し32%のクラブで設置していました。職業奉仕委員会の役目は何か？考えてしまう。地区委員長としての非力をお詫びし皆様の活動に敬意を表します。

社会奉仕委員会

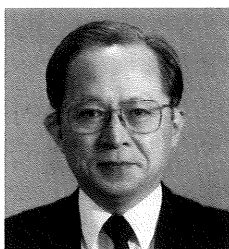


上 村 晋 也
(名古屋和合)

当委員会では地区協議会、地区大会、社会奉仕委員長会議の三大行事があり、中でも約170名の出席を得た社会奉仕委員長会議では参加していただいた方々に、いかに楽しくて有意義な一日とするかに心血をそそぎました。

議事法の一法であるフィリップス66を利用して参加者全員に発言をしていただき、社会奉仕活動のみならずロータリーの本質に関する現在の疑問点や奉仕に対する御意見や示唆を拝聴する事が出来、実り多い一日であったと自負しております。三大行事等を通じて感じた事は ①、ロータリーの精神、フィロソフィーや奉仕の本質についてあまり理解出来ていないロータリアンもかなりいらっしゃるように思われました。 ②、あまりよく判らないまま昨年と同じという社会活動計画。 ③、形式化された無駄な会合。 ④、ロータリアンの情熱等を感じさせられた一年でした。

環境保全(小)委員会



石 川 顕 次
(豊橋北)

本年度も、ゴールに近づきつつあります。環境問題は裾野の部分が大変広く捕らえ所の難しい所があります。従って、先ず行動を起す前に、環境問題に関心をもって学ぶことにし、2回の地区委員の会合と、2回の委員全体会を開催し、理解を深めるべく努力致しました。第1回の全体会には、豊橋技術大の前学長佐々木慎一先生（豊橋クラブ会員）に「技術開発の限界？」のテーマで、開発のあるべき方向と、矛盾点についてお話を頂きました。第2回目は先日の5月22日に、東京大学教授の石弘之先生より「21世紀の環境問題」と題して、環境の日の記念講演を頂きました。環境の現実と未来について具体的でしかも、大変ショッキングなお話で、委員一同、感動と恐怖感さえ覚えた次第です。新聞社の海外特派員のご経験のある方で、大変説得力のあるお話でした。

R.C.C.小委員会

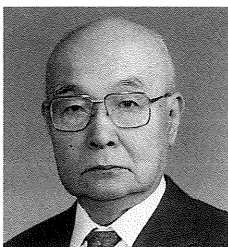


平 松 富 治
(豊 橋)

この一年間皆様の御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。本年度R.C.C.（地域共同隊）を設立されましたのは、1996年11月名古屋守山「MORVO」、1997年4月岡崎東「岡崎少年野球サークル」、1997年5月常滑「T・H・C・C」の3クラブの方々です。前年度迄に3クラブ設立されています。

R.C.C.はロータリーとは別組織であり、ロータリアン以外のメンバーで構成され、ロータリーの精神に基づき自主活動をしていただくということが基本でありますので、クラブの方々が活動に直接関わるということとはしないと理解をしていただければよいかなと思います。しかし設立に際しては対外的な事業でもあり、資金の問題もありますのでクラブ内では充分議論をしていただきますようお願い申し上げます。

国際奉仕委員会



吉 村 卯 一 郎
(名古屋名北)

地区国際奉仕委員長に任ぜられてから本年度は3年目であります。

その間歴代ガバナーの指示に従い、国際感覚の吸収と国際親善の発揮につとめたことは勿論であります。WCS主催のタイ、フィリピンへの視察旅行には両国へ交互に参加し、又RI年次大会への参加旅行にも必ず参加して国際親善につとめました。

国際奉仕委員会は特に語学の素養が必要ですが、私は学生時代の語学力しかなく、委員長に任ぜられた時は非常に不安でありました。幸い海外での公式挨拶では日本語が使えて通訳の力を借りて済ますことができ、事無きを得ました。

新年度は地区国際奉仕委員会のカウンセラーに任命されたので、新しい視点から委員会を見つめてゆきたいと思っています。

青少年交換小委員会



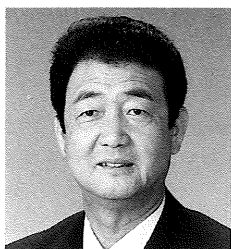
林 光 雄
(名古屋西)

この一年間の青少年交換委員会の活動をふりかえると、先ず派遣した学生においても、受け入れた学生についても、一つの事件、事故もなく、元気で勉強出来たことであり、世話をしている私共にとって最も喜ばしい事です。

今年度の大きな収穫は、従来のアメリカ、カナダ及びオーストラリアの英語圏の国々に加えて、新たにブラジルとフィンランドの二ヶ国と交換することになったことである。願わくは今後一人でも多くの高校生が、このプロジェクトに参加され、国際理解と国際親善の推進に貢献されんことを期待します。

最後に、この一年間各高校の先生方、ホストファミリーの皆様並びにホストクラブの国際奉仕委員長の皆様方には大変お世話になり心より厚く御礼申し上げます。

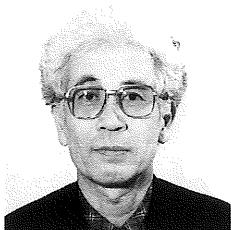
世界社会奉仕小委員会



鶴田 欣也
(名古屋南)

今年度は、フィリピン3800と3810地区の76プロジェクトに対し6,396千円、奨学金3,140千円、計9,536千円、タイ3360地区の21プロジェクトに対し2,100千円、奨学金2,100千円、計4,200千円を寄付いたしました。ドネーションおよびプロジェクトの視察のため各RCの会員およびWCS委員計28名が両国を訪問しました。なお、愛知奨学金は今年度で累計10,000千円に達し当初計画を達成しましたが、先方からの継続希望が強いことからガバナーの御承諾を得て、更に5年間それぞれに5,000千円寄付することとし、その協定締結の打ち合わせを行ってきました。今年度も計画通り活動することが出来ました。改めて各RCの御理解と御協力に感謝します。

国際友好小委員会



中野 博三
(豊橋南)

毎年実施してきました、提携状況調査は、ここ数年の調査実績からみましても、ややマンネリ化が生じ、陳腐となった感があります。そこで少し時間を掛けて再考することにし、今年度は見送りとしました。RIはこのところ、ロータリー趣味・職業別親睦活動(RRVF)とロータリー友情交換活動(RFE)に力を入れております。特に、ロータリアンとその家族のために、ホームステイの機会を提供し、個人と個人の接触を通じて、国際理解と友好、平和の推進に役立てる「ロータリー友情交換(RFE)プログラム」を重視しております。現状はと云えば、PR不足などの諸要因があり、多くの課題を残しております。当小委員会も、この活動の一環として努力不足ですが、各クラブ委員長宛に資料として、「親睦活動をみつけよう」を送付し、ご参考に供しました。

青少年活動委員会



加藤 正男
(岡崎南)

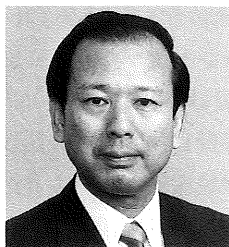
本年度は松本ガバナーの卓越したリーダーシップ及び各クラブの格別なるご努力により、多くの新しい成果が実っております。

新世代会議、インターアクト・オーストラリア研修、ロータリーアクト・国内及びオーストラリア研修、青少年活動委員長会議等いずれも新しいエネルギーと共に、活発に展開されました。

特にライラセミナーにつきましては、地区内すべてのクラブより会員及び青少年指導者の参加を得て豊かな内容と共に実施されましたことはご同慶に堪えません。

内田地区幹事・山田地区副幹事・鈴木孝則副委員長(あま)・坂本IAC(名古屋)・石川RAC(一宮中央)・野村RYLA(刈谷)各委員長の絶大なるお力添えに対しあつくお礼申し上げます。

インターアクト(小)委員会



インターアクトの活動を青少年に

坂本 康 信

(名古屋)

松本ガバナーはじめ関係ロータリアンの深い御理解ご支援に心より感謝申し上げます。

さて1996～'97年度地区インターアクト委員会の主な活動は下記の通りであります。

(1)第7回インターアクト協議会を夏季に安城市文化センターにおいて、安城ロータリークラブ・安城学園高校インターアクトクラブのホストによって開催され、479名の参加者を得、大成果を収めました。

(2)国際交流では、第9回海外研修は、今年よりオーストラリア・シドニーにおいて実施し、35名の高校生、2名の先生、3名のロータリアンが参加、現地での英会話学習、高校での授業参加・交流等を図ることができました。

(3)第2回地区インターアクト顧問・委員懇談会を開催し、顧問、地区委員、ロータリアン計45名が情報交換及び交流を図りました。

ローターアクト(小)委員会



新世代の育成＝未来社会の発展

石 川 敬

(一宮中央)

昨年委員長のご指名を賜わり早や1年を体験しました。ロータリーは今年度「新世代育成」を主テーマとした奉仕活動を実践的に展開してまいりました。この新世代活動は、まさに未来社会を発展させることにあります。

今年ローターアクトは「和」を最重点にアクティブな活動を展開し、特に今年よりスタートした「国内研修」は、より広い、仲間意識を高めることに成功しました。それは自己成長における新たな発見であり、その行動はアクターの将来に大きく役立つものと確信します。

まもなく訪れる21世紀に向かい、地球にとって大切な財産である若者達を高度な知識集団として育成する事はまさにロータリーの目ざす「超我の奉仕」ではないでしょうか。新世代の育成が現実成果あるものになります様、地区内全RCの深いご理解と温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

ライラ(小)委員会



新世代の育成に更なる情熱を

野 村 重 彦

(刈谷)

新しい世紀を担う青少年諸君が、自信と優れた指導力を身に付け、共に参加するロータリアンから奉仕の精神、友愛の大切さを学ぶ「第5回ライラセミナー」は地区内全クラブの登録の下に選ばれた青少年受講生178名、参加ロータリアン200名余の参加の下に素晴らしい思い出を共有しました。新世代の人々へのロータリアンの奉仕活動の中で、地区内全クラブより受講生、ロータリアンが参加するこのセミナーは新世代育成のための他のプログラムの基盤となります。参加し、ご指導、ご協力戴いた地区役員、各クラブロータリアンの皆様有難うございました。又一年間に亘り周到な準備と設営戴いたホストクラブ刈谷RCの皆さんに感謝致します。そして、加藤正男委員長のもと、地区青少年活動委員会では友情あふれる楽しい活動をする事が出来ました。ご支援、ご指導戴いた皆様に心から感謝致します。

ロータリー財団委員会



ロータリー財団へのご支援に感謝

矢島 茂

(名古屋守山)

今年度は、R財団創設80周年、ポール・ハリス没後50周年、国際親善奨学金創設50周年に当たり、寄付目標の必達と周年プログラムの活発な活動を行ってまいりました。

まずもって、年次寄付目標の達成と恒久基金へのご協力に対し、心より感謝申し上げます。

今後共シェア・システムの地区活動資金を確保するための継続的なご支援をお願い申し上げます。今年度、財団プログラムの新設と諸手続き等に重要な変更事項がございましたが、いずれも教育的プログラムと人道的プログラムを強化し、世界理解と平和友好関係を増進するものであります。特に、ガバナー指針のプラス・ワンに挑戦し、ジャパンプログラムをタイ国3360地区（チェンマイ）へ寄贈し、当地区にて日本語を学ぶ優秀な学生を招くことを決定致しました。また、ブラジル4430地区（サンパウロ）とのGSE受入・派遣を決定したことは、今年度の地区活動を象徴する出来事となりました。

財団奨学金小委員会



長谷川 二郎

(豊山城北)

ロータリー奨学金委員会としての活動は主として奨学生の募集選考及び留学に必要な書類の整備であります。よりよい奨学生を選ぶためには各クラブのロータリー財団委員長、カウンセラーの方々のお力を借りなければなりません。奨学生の資格、応募のあり方について知って頂くという初歩的なことから、留学手続、留学地の情報などを含めての幅広い広報活動が必要であると痛感致しております。

幸いなことに当地区から選ばれた奨学生はいずれも素晴らしい方々であり、まさに国際親善使節としての役割を充分に果たして頂いております。それぞれのクラブで国際親善を始めとする話題の提供などの機会を与えていただきたくお願い申し上げます。

財団学友会小委員会



世界に羽ばたけロータリー親善大使!!

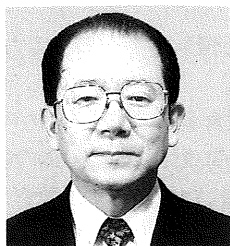
梅村 東

(豊橋ゴールデン)

昨年18名の財団奨学生を送り出してから早や1年、今年も新奨学生の壮行会が5月18日に行われ1年間の委員会活動が終わろうとしています。

今年度は14名の新奨学生を新たに選考しそれぞれの目的に向って世界各地にロータリー親善大使として皆さんを送り出そうとしています。これから1年あるいは2年海外での留学生活に思いを馳せ新奨学生は元気一杯最後の準備にとりかかっています。一方昨年出発した奨学生の皆さんは留学生活も終盤を迎え充実した一年をかみしめながら帰国の準備に多忙な日々を送っています。毎年繰り返される光景ですが親善大使としての役割を終え帰国を迎える皆さん、そしてこれから期待に胸を膨らませ自分の希望する学問の修得の為に、又親善大使の役割を果たすべく海外へ飛び立つ皆さん。いずれもこれからの日本を担う若い方々の姿を目の当たりにしてロータリアンの皆さんの一人一人の心温まるドネーションが素晴らしいプログラムを作っているんだという事を実感致しております。

ポリオプラス小委員会



ポリオのない世界を目指して

黒谷 尚弘

(豊橋)

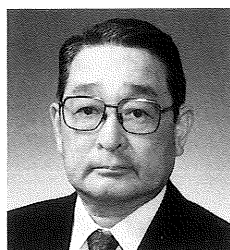
本年度、ポリオ・プラス根絶募金に対し、ロータリアンの皆様には、深いご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

新たな世紀とロータリー創立100周年が近づきつつある今、私達は何世紀にもわたって、私達人間を苦しめてきたポリオの根絶を目指してきました。

R.I.は、ポリオ発生地域であるアジア・中近東に1億600万\$、アフリカに7000万\$の支援をすることをWHOに誓約しております。発展途上国での一斉投与がポリオ根絶の為の絶対条件です。すべての国でポリオの根絶が宣言されない限り、いかなる国といえども安全ではありません。ロータリー創立100周年をポリオ根絶宣言と共に祝いたいと念じています。

ロータリアンの皆様のご理解とご支援を、引き続きお願い申し上げます。

米山記念奨学会



多大なご寄付と

愛知学友会設立に感謝

小田 公平

(豊橋)

今年は、はじめての一人歩きで、年間スケジュールを消化するのに追われっぱなしで、田中理事に大変ご心配やご迷惑をお掛けし申し訳なかったと深くお詫び申し上げます。今年も5月21日に開催される新奨学生と新カウンセラーへのオリエンテーション、つづいて本年度の特別事業である愛知学友会発足の記念式典が6月28日(土)に開催されます。年度一杯までスケジュールが詰まって息を抜くことが出来ませんが、お陰さまで、本年度は寄付金も当初の目標をほぼ達成、奨学生も昨年同様43名を4月からお世話をする事になりました。これも偏に地区内の各ロータリアンの皆様の暖いご理解ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。末筆ながら田中理事をはじめ地区委員の皆様方又ガバナー事務所の小栗様には大変お世話になりました。深くお礼を申し上げ報告とします。

ロータリーの友委員会



小栗 孝久

(半田)

ロータリー歴の浅い私にとって、「友」地区委員の仕事は大変に勉強になりました。隔月の東京での合同会議では、各種情報の収集や全国34地区の委員の皆様から貴重な意見が拝聴でき、物事はあらゆる切り口からの捉えかたがあるものだと感心させられる事が多く、ロータリーの奥行の深さを実感致しました。また、毎月の「友」誌に対するアンケートに答えるべく、以前にはない意識を持って読破することができ、特にRIの方針等がよく理解できると認識致しました。そして、4月の雑誌月間における地区内での卓話は、「友」地区委員として私自身の最大の勉強となり、お聞き戴いた皆様には感謝申し上げます。最後に「地区のたより」にご寄稿いただいた方々にこの紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます、今後も会員の皆様方には「友」に対しましてのご支援をお願い申し上げます。

第2760地区ニュース・その他

豊橋北ロータリークラブ 創立40周年記念式典

会長 小柳津 啓一郎



私共豊橋北ロータリークラブは本年度創立40周年を迎えました。1957年5月7日、佐藤利雄初代会長のもと、チャーターメンバー22名により創立をされ、その歩みを始めて以来、40の年輪を重ねて来たわけであります。これもすべて先輩諸氏の努力の足跡そのものであり、それを記念することが周年度の仕事であろうと思います。

そこで40年を記念する事業として、創業以来の継続事業である植樹を取り上げました。我がクラブの緑化事業のその39回のトータルは豊橋市の緑の10分の1以上と云われており、この業績を記念する大緑化事業として、苦慮検討の結果、新装なった豊橋駅の市の整備事業と共同し、ケヤキ他数種の成木を植樹する事と致しました。創立記念日5月7日の式典にて40周年にちなみ400万円を市に寄贈し植樹を委託致しました。又同時に米山奨学会へ40万円の贈呈も行い、盛大に周年を祝賀した次第です。



名古屋昭和ロータリークラブ 創立五周年記念式典

会長 久田 錦三



平成9年5月14日(木)、ご来賓に松原武久名古屋市長、井上晴世消防長をはじめ、地域の公職代表の方々をお迎えし、第2760地区松本宏ガバナーはじめ、地区の幹部、第二分区分会幹事等多数の方々をお招きいたし、135名の出席のもと、名古屋東急ホテルにて式典を盛大に開催いたしました。

最初の節目になる5周年のため、実行委員会を結成し、水谷特別代表、宇佐美特別代表幹事両氏の指導も受け、当日にのぞみました。

原田初代会長の格調高い、優れた品位、良き伝統を備えたクラブ作りの基本方針に従い、歴代会長始め全員が努力し、奉仕の理想の実現に向い邁進して参りました。

記念事業として昭和消防署の新庁舎完工に当り、「無災害の時を刻む時計塔」を寄贈し、地域の方々に「無災害」のPR効果の発揮を願いました。式典後の懇親会では名古屋消防音楽隊の懐かしいバンド演奏で最高に盛り上りました。会員一同当日の感激を胸に更なるクラブの発展を誓って奉仕活動に精進いたす心算です。

第2760地区ニュース・その他

新城ロータリークラブ

創立30周年記念式典

1997年5月16日(金)11:00~14:00

会長 下 嶋 正 秀



内田地区幹事、宮地パストガバナー、石川分
区代理はじめ姉妹クラブである韓国大邱嶺南ロー
タリークラブ会員及び夫人18名を含むロータリ
アン、来賓170名の出席のもとに清流豊川を眼下
にながめながら、桜淵公園内の新城観光ホテル
において、好天に恵まれて「創立30周年記念式
典」を開催した。

物故会員16名の黙禱が行われた後、下嶋会長、
高田実行委員長のあいさつ。記念事業をスライ
ドで発表した後、新城市、鳳来町、ロータリー
財団などに目録を贈呈。スポンサークラブの豊
橋北ロータリークラブや、大邱嶺南ロータリー
クラブ、当クラブ歴代会長に感謝状を贈った。

記念事業は、新城市民病院玄関前にモニュメ
ント「きぼう」建立、新城RC杯少年サッカー大
会の開催、新城市・鳳来町などにしだれ桜の植
樹、市民文化講座協賛、中国青島市城陽区へ友
好記念品寄贈など多くを実施した。

引き続き、祝賀パーティーに移り、オープニ
ングで津軽三味線や尺八、中国琴の演奏があり、
宮地PGの乾杯の音頭で祝宴がスタート。宴も盛
り上ったところで、石川分代理の万歳三唱で
お開きとなり、無事終了した。

場所を飯田に移し、大邱嶺南RCメンバーの歓
迎会を開催。手筒煙火を鑑賞し友好を深めた。

地区米山奨学会カウンセラー会議と

新米山奨学生とのオリエンテーション開催

地区米山奨学会 委員長 小 田 公 平

日時 平成9年5月21日(木) PM3:00~PM7:30

場所 メルパルクNAGOYA

田中徹米山記念奨学会理事、新米山奨学生22
名をはじめ総勢52名の出席者を得て、地区新カ
ウンセラー会議を田中理事のご挨拶のあとカウ
ンセラーの役割が奨学生にとっていかに重要で
あるか詳しく説明があり、小田米山委員長より
「世話クラブおよびカウンセラーの栞」に基い
て、世話クラブは、会長、幹事、米山委員長、
カウンセラー又クラブ全会員の協力のもとに奨
学生のお世話をさせていただきたい、又期間終了
後も出来るだけ連絡を保つことをお願いし、続
いて新米山奨学生を交えてオリエンテーション
を「ロータリー米山奨学生の栞」に基いて詳細
に説明し、奨学生一人一人から確約書にサイン、
名実共にロータリー米山奨学生となった。最後
に懇親会場に席を移し、懇親パーティーを楽し
み、19時30分、次回の再会を約し散会した。

お知らせ

次期西尾張分代理予定者、後藤芳夫様(尾
西R.C.)が5月21日ご逝去されました。新しく西
尾張分代理に加藤千博様(尾西R.C.)がご就任
されましたのでご報告申し上げます。

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

高橋 清様 (名古屋南R.C.)	5月7日
小塚弘之様 (豊山城北R.C.)	5月8日
池尾信太郎様 (名古屋南R.C.)	5月8日
小池一三様 (蒲郡R.C.)	5月17日
後藤芳夫様 (尾西R.C.) (次期西尾張分代理予定者)	5月21日
師 俊勝様 (名古屋錦R.C.)	5月27日



特別寄付報告書（1997年4月分）

2760地区

 財団法人 ロータリー米山記念奨学会
 理事長 末 永 直 行

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件数
一 宮		30,000		30,000	1 件
一 色		300,000		300,000	1 件
小 牧		30,000		30,000	1 件
名古屋東		60,000		60,000	1 件
名古屋名北		100,000		100,000	1 件
名古屋南	400,000			400,000	1 件
名古屋東南		300,000		300,000	1 件
名古屋和合		420,000		420,000	9 件
西尾KIRARA		180,000	150,000	330,000	9 件
岡 崎		105,000		105,000	10件
東 海		300,000		300,000	1 件
豊 橋		150,000		150,000	1 件
豊 橋 東		10,000		10,000	1 件
豊 橋 南		90,000		90,000	3 件
計	400,000	2,075,000	150,000	2,625,000	

1996～'97年度 新世代プログラム報告（平成9年2月～平成9年3月）

（月信にすでに掲載された以外のご報告です）

ロータリー名 項目	豊川、豊川宝飯	半 田	瀬 戸
実 施 日 会 場 出 席 者	平成9年2月14日 豊川商工会議所 インターアクター 2名 地域社会の新世代 10名 ロータリアン 10名 その他 6名	平成9年3月1日 レストラン白山 地域社会の指導者 行政 1名 地域社会の新世代 20名 ロータリアン 9名 その他 先生 5名	平成9年3月6日 瀬戸商工会議所 地域社会の新世代 7名 ロータリアン 7名
新世代会議にて話題になったテーマ	ボランティア活動の在り方。	“勤労体験”を通して感じた事、それを大人社会がどう受け止めたか。又、どう受け止めねばならないか等。	メインテーマ 21世紀を生きる サブテーマ ○青春の真只中で ○ボーイフレンドに求めるもの ○21世紀の看護を考える ○瀬戸の未来への提言
その結果、クラブで計画した新世代プログラム	豊川、宝飯地域の高等学校でボランティア活動を行っている各校について、より主体的に今後の活動を行っていただけるように、インターアクトクラブ等を通して資金面等で応援をしていく。	次年度も継続したく思うが、予算の関係もある。	次年度も新世代会議を開催する予定。

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'96年 7月1日	当 月	増 減					'96年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	99.00	4	47	51	4	西 尾 張 分 区	あ ま	99.37	3	104	105	1
	半 田	99.58	4	74	71	-3		尾 西	98.07	4	63	65	2
	半 田 南	99.24	4	68	69	1		一 宮	97.85	3	92	96	4
	東 知 多	96.31	4	62	67	5		一 宮 北	99.12	4	85	85	
	常 滑	98.88	4	70	71	1		稲 沢	98.07	4	65	66	1
	東 海	97.20	4	61	62	1		西 春 日 井	100.00	4	61	65	4
	計	98.37	—	382	391	9		尾 張 中 央	100.00	4	50	50	
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	97.01	4	222	228	6	東 三 河 分 区	津 島	100.00	4	89	88	-1
	名 古 屋 南	99.37	4	121	131	10		一 宮 中 央	99.35	4	72	76	4
	名 古 屋 港	100.00	4	130	132	2		計	99.09	—	681	696	15
	名古屋瑞穂	100.00	4	104	104			渥 美	92.57	5	63	66	3
	名 古 屋 中	100.00	4	160	165	5		蒲 郡	96.55	4	78	82	4
	名 古 屋 西	97.22	4	143	151	8		奥 三 河	93.55	4	38	39	1
	名古屋大須	99.75	4	96	105	9		新 城	92.96	4	68	71	3
	名古屋名南	99.72	4	84	90	6		田 原	100.00	4	73	71	-2
	名古屋名駅	96.54	5	102	105	3		豊 橋	99.77	4	132	129	-3
	名古屋東南	98.14	4	84	91	7		豊橋ゴールデン	99.69	4	84	82	-2
	名古屋栄	97.62	4	83	84	1		豊 橋 北	99.00	4	116	113	-3
名 古 屋 第 二 分 区	名古屋西南	100.00	4	52	52			豊 橋 南	100.00	4	68	73	5
	計	98.78	—	1,381	1,438	57		豊 橋 東	100.00	4	32	36	4
	名古屋千種	98.01	3	68	67	-1	西 三 河 第 一 分 区	豊 川	98.19	4	82	82	
	名古屋東	99.34	4	113	116	3		豊 川 宝 飯	98.51	4	68	72	4
	名古屋北	99.56	4	115	120	5		田原パシフィック	96.73	4	76	77	1
	名古屋名北	99.63	4	67	72	5		計	97.50	—	978	993	15
	名古屋名東	99.42	4	84	84			岡 崎	100.00	5	117	123	6
	名古屋守山	95.46	4	84	86	2		岡 崎 東	98.15	4	83	92	9
	名古屋昭和	97.21	4	72	73	1		岡 崎 城 南	100.00	4	76	78	2
	名古屋和合	100.00	4	110	113	3		岡 崎 南	99.05	4	113	117	4
	名古屋錦	95.00	4	60	67	7		豊 田	98.13	4	98	99	1
	名古屋東山	98.58	4	—	54	54		豊 田 東	98.82	4	91	98	7
	計	98.22	—	773	852	79		豊 田 西	99.17	4	105	103	-2
東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	4	78	85	7	西 三 河 第 二 分 区	豊 田 三 好	97.08	4	32	36	4
	岩 倉	94.92	4	41	40	-1		計	98.80	—	715	746	31
	春 日 井	100.00	4	83	84	1		安 城	98.11	4	91	91	
	小 牧	99.25	4	68	72	4		碧 南	98.40	4	83	83	
	江 南	100.00	3	73	74	1		一 色	100.00	4	52	51	-1
	名古屋空港	96.24	4	65	68	3		刈 谷	100.00	4	92	89	-3
	尾 張 旭	99.26	4	70	68	-2		知 立	100.00	4	54	58	4
	瀬 戸	99.69	4	78	83	5		西 尾	94.31	4	76	75	1
	瀬 戸 北	99.60	4	70	69	-1		西尾 KIRARA	99.61	4	70	71	1
	豊 山 城 北	96.66	4	60	60			高 浜	99.55	4	54	56	2
	計	98.56	—	686	703	17		計	98.75	—	572	574	2
地区内クラブ数				76RC	'96. 7. 1 会員数		6,168名		増 加 会 員 数		251名		
					当 月 末 会 員 数		6,393名		減 少 会 員 数		26名		
					当 月 平 均 出 席 率		98.51%		差 引 純 増 会 員 数		225名		